

JP-eコードの発番ルールについて

- 電子書籍の商品識別コードのことで20桁で構成される。
- コードの先頭部分に必ずISBN出版者記号(2桁~7桁)を付与し、それに続いて商品ごとに英数字で構成されるユニークなコードを付ける。
- EDItEURの承認を受け、ONIXに表記が可能な国際標準仕様になっている。
- MBJ様の項目にあるJDCN(デジタル・コンテンツ・コード)はJP-eコードに含まれる。

例	接頭記号+ グループ記号	出版者記号	出版者側で書籍に付番する番号 (書籍番号)
ISBN	978-4-	12345-	123-9
JDCN・JP-e		12345	000000000000000000

・ISBNに比べて、「出版社自身で書籍に付番する番号」の領域が多い。

単純な発番をするケースとして、以下に例を記載します。

① 出版者記号を先頭に、残りをゼロで埋めて20桁にそろえ、一番右の桁から付番する方法

978-4-12345-123-9 → 12345000000000000001

② ISBNの先頭4桁をカットし出版者記号スタートで書籍番号を内包、ゼロで埋めて20桁にそろえる方法

978-4-12345-123-9 → 12345123900000000000